

# 永渕ふみたか通信



佐賀市議会  
自民政新会

第9号

平成30年8月1日発行  
発行者/永渕 ふみたか



## 佐賀市 6月定例会

6月定例会は、6月8日に開会し、一般会計補正予算案や副市長の選任など追加議案を含む15議案を可決し6月29日に閉会しました。今回の補正予算の総額は、約4億3,600万円で補正後の予算総額は、約945億7,200万円となり、前年度同期に比べ、0.3パーセントの増となりました。

## 平成30年度6月補正予算 主な事業

- 土地改良施設適正化補助事業(農林水産部) 3,294万円
- 暗きょ排水管の更新を行う土地改良区に対する補助経費

### ●社会資本整備総合交付金事業等(建設部) 2億9,224万円

- 都市計画道路八戸天佑線等の整備経費

### ●障害者就労支援施設等支援事業(保健福祉部) 439万円

- 障害者就労支援施設等で構成する団体が農福連携の取組として実施する「啓翁桜の栽培」に対する補助経費

### ●久保田保健センター等土地購入経費(保健福祉部) 5,280万円 新規事業

- 久保田保健センター等の土地購入に要する経費

議員から提出された意見書2件については、そのうち1件が可決されました。

- ・教職員の定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

## 一般質問 市道三溝線再整備の方向性を問う！

**質問** ①市道三溝線に、市民の憩いのスペース、ポケットパークを建設検討すべきでは？  
②SAGAサンライズ通りと県と市の計画がリンクした愛称を使用してはどうか？  
③地元出身のイラストレーターに楽しく歩いてもらう仕掛け作りを依頼してはどうか？  
④市が想像する歩いてもらう仕掛けとは？(具体的に)



**答弁** ①駅北口からアリーナ建設用地までの途中に何力所か休憩のためのスペースを設けたりすることも必要と考える。  
②今後、地元検討会の場において、愛称の取り扱いに関して意見交換をしたい。  
③市道三溝線を楽しく歩いてもらうための手法として、今後研究をしたい。  
④(アリーナに) 出演するアーティストやスポーツチームのロゴ、エンブレムをかたどったフラップの掲示、また、デジタルサイネージ等の機器を使った選手紹介など、臨機応変に使用可能なツールを設置することも有効と考える。

### ここがポイント！

今回は、市道三溝線再整備についての質問を行いました。市議会議員という仕事は、まずは、市民の皆様の考えを市政に反映させることが必要です。そのためには、市民の皆様の言葉を傾聴する姿勢が一番必要なのですが、時に、行政と市民の繋ぎ役として、水面に小石を投げ、波紋を広げ、市民みんなで課題を考えていくように喚起する役割もあるのではないかと考えています。その意味で、今回の質問内容は、私見が多くなっています。その点はご了承の上お読みください。さて、質問①では、まず佐賀駅からアリーナまで(歩いて18分)楽しく歩いてもらうためには、三溝線の途中に休憩をする場所の必要性があると思い、ポケットパークの建設の検討を考えるべきではないのか？と質問しました。こちらには、答弁でもわかるように前向きな姿勢を執行部は見せました。期待したいと思います。質問②では、佐賀県のアリーナ整備計画と佐賀市の佐賀駅周辺整備計画は具体的にリンクするべきではないのか？と思い、佐賀県が整備エリアを「SAGAサンライズパーク」(仮称)と名付けているのならば、県民と市民に今回の再開発に一体感を感じてもらう意味で、三溝線の通りの愛称に「SAGAサンライズ通り」と二つの計画がリンクした愛称を使用してみてもどうかと質問しました。この件は、もちろん地域住民の皆様のお考えを尊重し議論をする必要がありますが、計画の段階で愛称を用いることで、駅周辺整備計画やアリーナ整備計画の双方に市民に関心を持ってもらうことができる相乗効果が望めると考えています。答弁では、地元検討会の場において、愛称の取り扱いに関して意見交換をしたいとの見解が示されました。この件は、まずは現在の「駅北口大通り」という呼称が、当時の市民からどういう意図で名付けられているのかの調査から始める必要があ



質問内容が新聞に掲載されました。

るかもしれません。先人の市民の思いを理解して進むことも再整備においては重要です。続いて質問③では、人口約3万5000人の鳥取県境港(さかいみなと)市の「水木しげるロード」が一年間で約200万人の方が訪れる観光ロードとして成功した事例を指し示し、境港市の駅前通りが、歩きたくなる仕掛け作りに成功した要因を【図1】に表記した5つのポイントではないのかとの仮説を立て、執行部に説明し、このポイントをクリアできる方法として、地元出身イラストレーターの中村326(ミツル)さんに楽しく歩いてもらう仕掛け作りのご協力をお願いしてみてもどうかと提案質問致しました。この質問、答弁では、今後研究したいとの見解が示されました。質問④では、市が現在考えている歩いてもらう仕掛けについて聞きました。答弁では、一部ではありますが、佐賀市が考える具体策が指し示されました。佐賀市には、消極的で無難なアイデアに埋没せず、市民の多くが納得できる歩きたくなる仕掛け作りとは何か、今後もしっかり研究を続けていただきたいと思います。私自身も市議会議員として、この佐賀駅周辺整備計画において地域住民の皆様の気持ちに寄り添い、行政と市民との繋ぎ役としての役割を今後もしっかり果たしていきたいと思っています。

【図1】 境港市の駅前通りが歩きたくなる仕掛け作りに成功した要因を佐賀市に当てはめてみた比較表

	境港市	佐賀市
著名人の起用	水木しげる	326(ミツル)さん
ゆかりのある人物の起用	水木しげる(境港市出身)	326(ミツル)さん(佐賀市神野小出身)
他自治体がもちえないコンセプト	妖怪	326(ミツル)さんの個性的なイラスト
コンテンツの力	ゲゲゲの鬼太郎	326(ミツル)さんの印象的な詩や作品
海外へのアプローチ	昨今の外国人は日本の漫画イラストに興味	



326(ミツル)さん  
作品イラスト



地元出身の  
326(ミツル)さん



4月17日 石川県加賀市・福井県越前市 議会運営視察



5月1日 議会報告会告知 佐賀 City テレビ出演



5月5日 紙飛行機競技大会「たけし杯」 家族で参加



5月8日 京都市 株式会社マイファーム視察



5月9日 養父市 中山間農業 国家戦力特区視察



5月26日 兵庫公民館 議会報告会出席

編集後記

6月定例会が6月29日閉会しました。閉会日に、教職員の定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書が全会一致で可決されました。計画的な教職員の定数改善を推進することは、教育現場で問題になっている教職員の長時間労働の是正にも繋がります。今議会、定例会一般質問において、市立の中学校で2017年度の1カ月当たりの時間外労働が80時間を超えた教職員の割合が19.6%に上ることが明らかになりました。これは「過労死ライン」といわれる水準です。私も校区の子ども会関係者として学校に伺うことは多いのですが、教職員の皆様の子どものために時間を惜しんで立ち向かう真摯な姿勢には、いつも頭が下がる思いです。今回の佐賀市議会提出の意見書が意味を持ち、学校教育現場の改善が進むことを望みます。

# 永渕ふみたか

〒849-0928 佐賀県佐賀市若楠3丁目3-23  
**TEL.0952-38-2323**  
**FAX.0952-33-5176**

インターネットで「永渕ふみたか」と検索!!  
 活動の日々をブログにて発信しています。

お気軽に  
ご相談  
ください。



プロフィール

- 昭和51年8月19日生まれ(41歳)
- 佐賀北高等学校卒(30期)
- 平成29年10月佐賀市議選挙当選(2期目)
- 議会運営委員会 所属
- 佐賀市議会 自民党 自民政新会所属
- 経済産業委員会(副委員長) 所属
- 議会広報広聴委員会 所属
- 市民総参加子ども育成運動推進本部委員
- 若楠校区子ども育成部会 部長
- 若楠校区子ども会会長
- 若楠校区地域子ども教室会長

『永渕ふみたかホームページ』もご覧ください。

↑ <http://nagafuchi-fumitaka.com/>

↑ <https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka/>

表面もご覧ください。